

津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

津房地区の皆様へ
まちづくり協議会の事務局は
月・火・木の週三日開いています
ご意見などお寄せ願います。

樺の木林道の草刈り

樺の木林道の整備事業、
ことしも受託しました。
区長各位と例年出役協力
頂いている方へは別途案内
状をお送りしますが、
11月29日(月)
～12月1日(水)
の実施で計画しています。
その節はご協力宜しく
お願い致します



市担当と委員会の協議



中間集落での現地説明会

周辺部集落を運行中のコミュニティバスの利便性を向上させた公共交通制度の導入を目指すと、市・交通政策係と協働取り組み中の課題の件、前号でお知らせした以降の進捗状況をご報告します。

前回の協議のあと、行政側での検討が進んで素案が纏まったことから、当協議会に設置した委員会(計10名から成る)に対する説明と協議が9月13日に為されました。

そのあと、今回の協議内容が反映された行政による素案の提示と利用予定者からの意見聴取を主目的に、実証運行に先立つ現地説明会(利用の可能性が高い方対象)が、10月20日の中間集落を皮切りに、関係集落単位で順次開かれています。

小集落が散在する地形の当地区にとって、利便性の良い公共交通の導入は、今後の住民生活と集落を維持する上で重要な案件です。引き続き行政と委員会との連携を密にして最良な施策となるよう進めて参りますが、住民各位におかれましては、説明会への参加や実証運行の積極的な利用を通じて施策の実現にご協力願います。

デマンド型交通の 在り方研究の件

津房小の一輪車コース 舗装事業 漸く完成!

平成23年秋、津房小学校の遊具拡充の支援事業として当時の当協議会役員各位が出役してグラウンド南端に一輪車の練習コースを設置しましたが、コースの路面は細かい石粉を敷き詰めた簡易舗装としていました。

設置当初はこの簡易舗装で用足りていたものの、経年に伴う路面の荒れや雑草の浸食により児童諸君の練習には使えない程に劣化してしまい、正式なコンクリート舗装への改良が熱望されていました。

今回、ふれあい運動会を前にこの熱望にこたえようと、当協議会の全役員に呼びかけ、9月上旬にコンクリート柵の設置、生コン打ち柵外しと均しの3工程(日)に分散して出役願ひ、漸く完成させることができました。

なお、肉体労働は苦手な豊永校長さんと体力自慢の高倉駐在さんの友情出役、生コン打ちには宇佐重機さんのコンボ君の温情出役もあり、大いに助かりました。

9月13日には児童、先生方、協議会代表の参加のもと、小学校側手配による「一輪車コースお披露目式」を行い、全校児童による走り初めが為されましたが、難コースを全員楽しそうに走る様子より、津房っ子のバランス感覚と体力の向上に役立つこと間違い無し!と確信できました。



生コン打ち↓
コンボ君活躍中
コンクリート柵の
設置完了!←



↑ 柵外しと
ならし完了!

お披露目式で
スイスイと
乗りこなし→



秋の全国交通安全運動

ことしの秋の全国交通安全運動は9月21日から30日までの10日間でしたが、当地区では、期間中の土日と祝日を除いた6日間の朝7:30~8:00、六郎丸交差点で通行車両への安全運転の呼びかけと津房小児童の登校見守り活動を行いました。

地区内の道路改良が進んで通行車両の量と速度が飛躍的に上昇し、また、地区民の年齢構成が変化して高齢の歩行者や運転者が激増中の状況より、地区あげでの交通安全運動への取り組みが重要テーマとなっていますが、交通指導員の尾立正雄さんと高倉駐在さんをリーダーに、女性ドライバー安全会、交通安全協会津房分会、豊永小学校長、まちづくり協議会・あんしん部会のメンバー各位による輪番での出役ご協力により(延べ出役人数は48人)所期の活動を行うことができました。

↓ 交差点で安全運転
の呼びかけ



↑ 見守りの中
歩道を渡る津房っ子

津房ふれあい文化祭のご案内

一昨年までは一般地区民も参加して盛況だった「津房小学校ふれあい文化祭」、ことしは10月30日(土)の開催ですが、コロナ禍が終息していないことから、昨年に続いて児童・教職員・児童の家族などの限定者のみの参加で行われます。

伴って、これまで文化祭当日に展示されてきた地区民制作の作品(絵画、手芸品、文芸、工芸品など)を一般住民の方々に見学して頂く代替の場として、下記の要領で展示会が設けられます。

地区内の個人や同好会各位による力作の見学と巣ごもり解消を兼ね、大勢の方がお出かけ下さるようご案内します。

公開日時; 11月23日(火)~27日(土) 9:00~16:30

公開場所; 津房地区公民館

お宮の賽銭箱にご注意を!

各集落での秋祭りたけなわの時期ですが、「8月下旬から9月中旬にかけて旧安心院地区の神社2社の賽銭箱が荒らされる事件が発生した、祭りでは賽銭が多いこの時期、地区内の各神社におかれてはその都度集金するなどの管理を十分にし、被害に遭わないように」と高倉駐在さんからアドバイスがありました。

特に各神社の役員さん方、折角寄せられた浄財が無駄にならないようご注意ください。

七つ道具入れ 希望者へ贈呈

高齢者の生活の便宜を図る事業として、日常生活で良く使う身の回り品を一括して収納しておくための木製の手提げボックス(「七つ道具入れ」とネーミング)を当協議会の木工工房「あんき工房」で製作し、70歳以上の独居および、ふたり世帯へ贈呈する事業を行い、一応対象世帯へ行き渡ったと判断されたことから4年ほど前に事業を中断しています。

事業中断前に製作した余剰の在庫品が20個ほどありますので、ご希望者に贈呈し、活用願うこととします。

いつも身の回り品の探し物で困っている高齢者(原則70歳以上)の方で、本品の配布をご希望される方は、ご遠慮なく左記へお申し込み下さい。

☎ 48-2001
事務局 岡又は 今野

ご寄付のお知らせ

綾部のり子さん(東恵良)より
ご夫君 武美様のご逝去に際しての
香典返しのご儀として、多額なる
ご寄付を頂戴いたしました。
当協議会の実践活動費として活用し、
ご意向にお応えして参ります。

